

交流事業あれこれ

☆渥美奨学生の集い



10月3日(火)午後6時半より、恒例の「渥美奨学生の集い」が開催され、渥美財団役員、ラクーン会員、本年度奨学生、あわせて約30名が集まりました。今年は、渥美財団選考委員長で東京大学工学部の畑村洋太郎教授に「技術の創造」というお話をいただきました。失敗に学ぶことがいかに大切かということ、効率や便利さばかり追い求めるために教訓を忘れてしまっていること、効率の低い枝葉の部分の切り落としてきたためにひとつのルートがつまると他へ迂回できなくなっていること、作業がマニュアル化され全体がわかっている人が居なくなっていること、それゆえ事故があっても適切な判断ができないこと、技術の成長周期は30年なので、半導体を初めとする多く産業の最盛期が終わりつつあること、現在次々に起こる事故はこのような状況から説明できること、まだまだ日本では危機感が少なく、今後10年はこのような嫌な事故が起きるだろうということ、などなど「恐ろしい話」をたっぷり伺いました。また最後の10分間には、ビデオを

使って、先生の研究室で行っているナノ・テクノロジーの紹介をしていただきました。その後、「科学の進歩は人類にとって必要か」(科学は人類を幸せにするものではないが、人間の好奇心が科学を発展させる)「人間の心は科学的に説明できるのか」(好きになる等の人間の心も、今では物質の移動で説明される)など、参加者からのたくさんの質問にも丁寧にお答えいただきました。講演会の後、参加者はお刺身やお寿司をつまみながら、ゲストの文部省芝田留学生課長や財団役員の先生方との歓談を楽しみました。

(講演録は編纂し、「関ログローバル研究会」**SGRA** レポート **No.3** として刊行されています。)



☆軽井沢旅行

お天気に恵まれた今年の軽井沢旅行は、いつもに増して忙しいものでした。恒例の離れ山ハイキング、すいかわり、花火、理事長の別荘でのバーベキュー・パーティーに加えて、今年は、セミナーが2回と懇談会がありました。

バーベキュー・パーティーにはスペシャル・ゲストとして、国際C I S V本部



Childrens'International Summer Villages) の役員もパーティーに加わりました。

2回のセミナーは、昨年からの続きともいえますが、今年は、S G R A (関口グローバル研究会) が主催し、自主研究テーマである、「地球市民」と「I Tと教育」がとりあげられ、活発な議論が繰りひろげられました。

懇談会には、今話題の新生銀行の八城社長をお招きし、様々な質問にお答えいただきました。全てのプログラムが、国際的かつ学際的で、本年度奨学生も、ラクーン会やS G R A会員も積極的に参加しました。



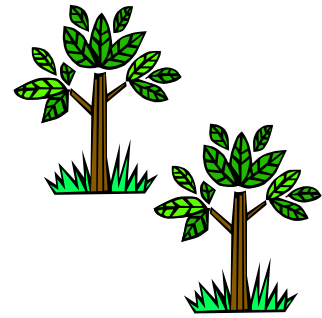
八城社長の講話



研修センターでのセミナー



☆ラクーン会



ラクーン会は渥美財団奨学生の同窓会で
名前は故渥美健夫氏の手遊びの狸の絵に因みます

in 台北



台湾国立中央大学学長表敬訪問

ゴールデンウィークを利用して、5月3日～5日、今西常務理事と次女明日香は、台北を訪問し、洪徳俊さん(1995 Kobe Raccoon)、方美麗さん(1977 Raccoon)、楊接期さん(1999 Raccoon)の歓待を受けました。洪さんのボランティアワークの北投温泉再開発計画も、方さんに案内してもらった士林地区の夜市も、輔仁大学の方さんの学生さん達との質疑応答も、台北で一番豪華なホテルで行ったラクーン会も、猫空地区の山上で行った真夜中の茶会も、洪さんと楊さんの勤める国立中央大学の学長先生との面会も、大学の近くの客家の

廟の見学も、楊さんの研究室の画期的な教育的サイバー都市の建設計画も、全てとても興味深く、楽しいものでした。3日間でこれ以上は望めないほど、いろいろなことができ、また、帰国した皆さんの活躍なさっている様子を拝見して、とても嬉しく思いました。



バーベキュー *in* 東京

5月6日(土)、本年度ラクーン会の王且会長のイスラム・バーベキュー・パーティーが、今西家の庭で開催されました。参加者は、持ち寄りの料理やバーベキューやビールを楽しみながら、例によって中国での大学建設など、発展的な話題に花を咲かせました。

in ボストン・ニューヘブン・ニューヨーク



8月18日(金)、ボストン訪問中の今西常務理事と長女真帆は、ハーバード大学の孫艶萍さん(1998 Raccoon)とエール大学の張紹敏さん(1997 Raccoon)のご家族、侯延 さん(1999 Raccoon)、と一緒にラクーン会を開催し、本場のメインロブスターを楽しみました。今西は、その後ニューヘブンを経て、ニューヨークへ行き、張ファミリーと侯夫妻と一緒に、再度ラクーン会を開催しました。

22日(火)には、ニューヨーク大学美術史研究所の助教授のメラニー・トレーデさん(1996 Raccoon)夫妻とSOHOのレストランで会食しました。ご主人でニューヨーク大学客員教授のローレンツ・ビッヒラーさんとは「アジアの地球市民とは何か」の話がはずみ、11月のSGRAの研究会で発表していただくことになりました。



in ソレント

9月13日(水) イタリア訪問中の渥美理事長と今西常務理事は、レッツェ大学で教えているシルバーナ・デマイオさん(1997 Raccoon)の故郷ソレントを訪問しました。南イタリアの家族的な歓迎を受け、パスタとワインを満喫し、楽しい一時を過ごしました。(「理事長のことば」もご参照ください。)



in バンコク

11月18日(土)、比較的涼しくて(日中30度くらい) 乾季で過ごしやすいバンコクの、レストラン **Bussaracum** にて、ラクーン会が開催されました。タイのラクーン達(ビラバット1996、ノイ1997、プラチャー1999)



と今西が集まって、タイ料理とおしゃべりを楽しみました。話題はタイの大学の話・・・タイガーウッズに名誉博士号を授与するのは妥当か、とか、アジアに共通の仕事をしすぎると「出る釘は打たれる」ので頭に来た話などでした。

今西は、バンコク滞在中に、3つの主要な大学、プラチャーさんのカセサート大学、ビラバットさんのタマサート大学、そしてノイさんのチュラロンコン大学を尋

ね、ラクーンの皆さんがそれぞれがんばっていることを知り、とても嬉しく思いました。



in ヤンゴン

11月21日、今西常務理事はヤンゴンのキン・マウン・トウエさん(1996 **Raccoon**)を訪問しました。ミャンマーの国もキンさんの生活も今西に強烈な印象を与えました。



詳しくは

SGRA かわらばんをご覧ください。

<http://www.aisf.or.jp/sgra/>

王 且 ヴァイオリン・リサイタル & 20世紀最後の忘年会

1999年度渥美奨学生で、東京芸術大学の王且さんの博士号取得のためのヴァイオリン・リサイタルが2000年12月7日(木)17:30より、東京芸術大学内、第6ホールで開催されました。皆で応援にいきました。王且さんは、見事に合格、博士号を受けました。

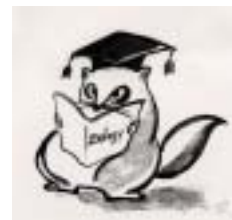
その後、午後7時から、上野不忍池畔のレストラン東天紅上野店で中華バイキングによる20世紀最後のラクーン忘年会を開催しました。

☆ 2001 新年会

2001年1月13日(土) 恒例の渥美財団新年会が、鹿島新館/渥美財団ホールで開催され、新旧奨学生とその愛する人達、約70名が集まりました。王旦さんとお友達のフベルトス・ドライヤーさんのバイオリンとピアノの演奏で素晴らしい新世紀の初日を無事に迎え、年の始まりを皆で祝うことができました。そしていつものように、参加者はそれぞれ、ビンゴで新しい年の幸運を占いました。



☆ 2000年度奨学生研究報告会



2001年3月3日（土）、渥美財団ホールにて、研究報告会が開かれ、2000年度の渥美奨学金受給者12名が自分の研究成果を発表しました。今期・来期の渥美奨学生やラクーン会（同窓会）のメンバー、財団役員に加え、日本で留学生支援をしていらっしゃる方々にもご参加いただき、本年度最後の行事も盛会のうちに終わらせることができました。

発表者は、自分の博士研究を「子供にもわかるように」「15分以内で」説明するのに大変苦労したようでしたが、たくさんの方が初めてパワーポイント（コンピューターを使って発表するプログラム）に挑戦し、それぞれ素晴らしい発表をしてくださりました。

最後に、渥美財団理事で弁護士の遠山友寛様、評議員で東京大学名誉教授の秋山光和様、そしてお客様を代表して鹿島美術財団の原嘉男様からコメントをいただきました。報告会の後、嶋津忠廣運営委員長より、渥美財団の元留学生ネットワークによる関ログローバル研究会（SGRA）の紹介がありました。その後、参加者はビールと中華料理を



食べながら歓談を楽しみました。



◆報告者と博士論文テーマ

金 政武 「コンビナトリアルレーザーMBS法による3d遷移金属をドーブしたエピタキシャルZnO薄膜の作製とその物性

鄭 在皓 「非線形光学材料の分子配向の制御及び導波路型波長変換デバイスに関する研究」

鄭 成春 「環境保全的土地政策の考察」

高 熙卓 「近世日本における公共性探求」

林 泉忠 「『辺境アジア』における民族と国家—帰属変更と住民アイデンティティをめぐる沖縄・台湾・香港の比較研究—」

Molnar Margit 「アジア金融危機における企業・銀行部門の役割：タイとインドネシアの経験から」

Naiwala P. Chandrasiri 「顔表情分析、認識、合成とその知的画像符号化への応用」

任 永 「神経特徴蛋白質の細胞突起形成及び細胞内局在変化についての研究」

Suzuki Sato, Hiromi 「モノづくりのための人的資本育成—メキシコの技術教育および職業訓練の経済効果—」

武 玉萍 「ニコチンによるアポトーシス誘導へのヒト熱ショックタンパク質90aの関与」

徐 向東 「中国における人的資源の形成と日本企業の技術移転—異文化組織における知の移転、共有と創造のメカニズムの探求—」

曾 支農 「汪政権による「淪陥区」社会秩序の再建過程に関する研究—『汪偽政府行政院会議録』の分析を中心として—」

